鹿児島大学教育学部代用附属　鹿児島市立伊敷中学校　学校だより（令和３年度 第10号）

常盤の翠

志・寛・錬

発行
令和３年11月26日
鹿児島市立伊敷中学校

伝統を守り続けることは新たな挑戦を続けること

教頭　川畑　勇司

もうすぐ12月。年末が近づくと、せわしさを感じるとともに、思い出すことがあります。小学校高学年のころから毎年、４歳下の弟と正月飾り用の松やユズリハ、ウラジロなどを共働きだった両親に代わって山に取りに行き、門松などの準備を兄弟だけでしていたことです。そして現在我が家では、年末になると私の子供たち２人が松や竹、ユズリハを山に取りに行って、門松づくりをしています。門松づくりは父親から教えられたわけではありませんし、私も子供たちに教えたわけではありませんが、続いています。

伊敷中には先輩から後輩へと引き継がれるすばらしい伝統があります。文化祭もその一つです。今年の文化祭も、コロナ禍の影響を受けたとは思えないほどの質の高いすばらしい作品ばかりでした。特に、学年演劇は、どの学年も伊敷中の生徒のすごさをあらためて感じました。初々しくも思いのこもった１年生の演技、語りかけるように平和について深く考えさせる２年生の演技、SDGsについて多彩な表現を用いて訴える３年生の演技と、学年が上がるごとに重厚さを増しており、更に表現の仕方が年々進化しているのです。先輩たちの演技に魅了され、後輩はそれを目指して取り組んでいるからでしょう。感染状況が少し落ち着いてきたため、学年ごとではありましたが、保護者の皆さんにも見ていただくことができました。引き継がれし文化祭にかける思いは、いかがだったでしょうか。

伊敷中は生徒会の活動も、良き伝統として引き継がれています。先日コロナ禍の影響で遅れましたが、第75代から第76代への引継式がありました。私が最初に赴任してからの約14年の間、伊敷中の「三大伝統」は色褪せることなく引き継がれてきています。しかし、毎年同じように取り組んできたからといって確実に引き継がれていくものではありません。例えば、きちんとした「門礼」のために「校舎の志・寛・錬を見て立ち止まる」や、次の学習場所での「黙想」を徹底させるために「２分前に着席し、１分前黙想をする」取組は、10年くらい前の生徒会が知恵を絞って呼びかけ始めたことなのです。伝統を守り続けるためには、思いをもち、新たに工夫できることを考え、挑戦し続けることが必要なのだと感じます。

第76代生徒会のスローガンに「シコウ」という言葉が入っています。主体的に「思考」し、積極的に「試行」することが、様々な「シコウ」を支える行動力になるのだと思います。これまでの先輩たちがそうであったように、いやコロナ禍の今だからこそ更に思いを込めて、良き伝統を引き継ぐために、新たなことに挑戦していってほしい。

我が家の門松は、子供たちが今の家に合わせて植木鉢にわらを巻いて竹や松などをコンパクトに飾り付けるスタイルに変えました。伊敷中の生徒会は、700人以上の生徒の知恵や行動力が集まります。どんな学校に進化していくのか楽しみです。

文化祭実施

２日（火）文化祭が行われました。前述しましたが、本校文化祭の名物である学年演劇は、まさに圧巻の一言でした。

１年生は、薩摩藩が幕末にイギリスへ派遣した長沢鼎らを演じました。西洋の技術の高さに力の差を感じた長沢らをユーモアを交えて演じました。一番驚いたのが英語力の高さです。イギリス人のセリフはすべて英語で演じられましたが、流れるような発音に驚かされました。

２年生は、戦時中行われた「特攻」について、家族や特攻兵の葛藤を描きました。お笑い等一切なし、戦時中の悲劇を真剣に描きました。台詞一つ一つに心がこもっており、胸に突き刺さるようでした。生徒の熱演もあり、最後には涙がこぼれました。２年生の劇で涙した保護者も多かったのではないでしょうか。

３年生は「持続可能な社会」をテーマに環境保護の重要性を演じました。今、地球規模で環境破壊が進んでいます。これからを生きる生徒のみなさんは、その問題に正面から向き合わなければなりません。劇中では、地球の環境を壊し続ける人間に嫌気がさし、人間がいなくなった方が良いのではないかと考える神様たちを、中学生が必死に説得します。実は３年生は総合的な学習の時間で、地球の環境問題等について学習してきました。生徒たちの学びと劇がしっかり結び付き、説得力のある作品になっていました。笑いあり、学びあり、さすがは３年生と思わせる学年演劇でした。

命の誕生を考える（３年生保健教室）

19日（金）３年生対象の保健教室がありました。今回は赤ちゃんの誕生について学びました。代表生徒による妊婦体験等もあり、体験を通して命の誕生を学ぶことができました。講師の先生が「命が生まれるって、本当に奇跡的なことなのです。」と言われていました。今回の保健教室が、自分の命について再度考えるきっかけとなっていれば幸いです。

令和３年度 第75回文化祭
新たな色

主な行事予定

2日（木）	読み聞かせ(1年)
7日（火）	1･2年PTA
11日（土）	土曜授業 第２回資源回収
22日（水）	専門校フェスタ(2年)
24日（金）	終業式，大掃除

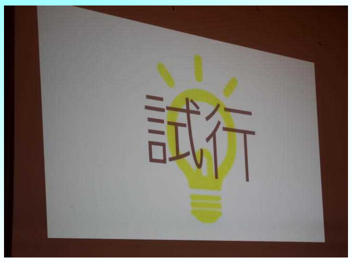
※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。

生徒会引継ぎ式

２４日(水)、生徒会引継ぎ式がありました。舞台上では、第75代生徒会役員から第７６代生徒会役員へ生徒会旗が渡されました。これまで学校をリードしてきた７５代の皆さんはもちろん立派でしたが、７６代の皆さんも堂々としており、すでに生徒会役員としての貫禄がありました。

さて、７６第のスローガンは前述のとおり「シコウ」です。この言葉には、思考、試行、志向、至高、至幸の５つの意味が込められています。なるほど、考えたなと思いました。

学校をつくるのは生徒会の皆さんです。１年間、力の限り頑張ってください。



グリーンタイム

１２日(金)、全校生徒で一人一鉢の花を植えるグリーンタイムがありました。

このグリーンタイム、年間２回行われます。生徒は一苗ずつ丁寧にポットから鉢へ植え替えており、自分の花を大切に育てようとしていました。これから数か月、水やりや除草作業をすることになります。是非、思いやりをもって育ててください。みなさんが植えた苗が立派に育つのを、楽しみにしています。